

早いもので、2学期も2か月半が過ぎ季節は秋本番。紅葉が赤く色づき始め、朝夕の空気が冷たく感じられるようになりました。

2学期、学校では行事が盛りだくさん。合同運動会・陸上大会・がんばり遠足・なかやまフレンドリーマラソン大会など。そんな中、子どもたちは「元気はつらつ」、毎日楽しく学校生活を送っています。2学期の子どもたちの様子。協働活動の一コマを紹介します。



こども園・小中学校 合同運動会

『心をぐっとつかまれる瞬間』の連続

10月11日、こども園・小中学校合同の運動会が行われました。仲間を応援する大きな声と、うまくいなくても諦めない勇氣・・・そして、バトンをつなぐ瞬間の熱い思いなど、どの場面も、「心をぐっとつかまれる瞬間」の連続。そして、何といっても練習を積み重ねてきた創作ダンスと中山行進曲・・・「心ひとつ」にした力強さと、その熱量に胸を打たれました。



聞き取った実話と紙芝居を通じて「平和学習」

命の大切さ、平和を守ることの大切さを学習

10月29日、5・6年生が総合的な学習の一環として、「平和学習会」を行いました。講師として上岡宗一さん・松浦千恵子さんをお招きして、今年100歳を迎えられる方から実際に聞き取った話や紙芝居を通して、松山空襲の様子や中山地区にまつわる紙芝居「一杯のお茶」を利用して、当時の状況を丁寧に語って頂きました。空襲の恐ろしさ、家族や友人を失う悲しみ、そして、捕虜にされた米兵を思いやる気持ちを忘れなかった中山の人々の姿など・・・みんな、真剣な眼差しで聴いていました。

最後に、上岡さんから、「二度とあのような悲しい思いをする人が出ないように」受け継いでいってほしいと語られました。

今回の学習を通して、命の尊さ、そして平和を守ることの大切さを、一人一人が心に刻むことができました。



先生方と事前打ち合わせを行って頂きました



紙芝居「一杯のお茶」を通じて当時の状況を語って頂きました



聞き取った戦争の話を語って頂きました



児童も真剣な表情で聞き入っていました



農家の仕事を学習 『栗拾い体験』

『秋の自然を全身で感じながら』 バケツに一杯の栗

10月1日、3・4年生が社会科の校外学習で「栗拾い体験」を、三ツ井守恵さんの農園で行いました。

最初に栗の拾い方を教えて頂いた後は、いよいよ実践。あちこちに「いが栗」がごろごろ・・・夢中になって栗拾いをしました。

栗拾いの後は、三ツ井さんから栗についてのミニ講座・・・「何種類の栗を栽培されているの?」「栗の木の寿命は?」「どんな場所が栽培に適しているの?」など、たくさんの質問が飛び交いながら、三ツ井さんから栗にまつわる話もたくさんしていただき、「秋の自然を全身に感じながら」、バケツに栗一杯にして学習会を終えました。



栗について話を聞いた後、栗拾い体験をしました



受け継がれる伝統行事『秋祭り』

祭りの主役は地域の小中学生

10月19日、町内で盛大に秋祭りが開催されました。各神社では、古くから受け継がれてきた獅子舞、舎儀利、お供相撲等の伝統行事が行われ、多くの人でにぎわいました。

この秋祭りの主役は、地域の小中学生。伝統を守り、地域の未来を創るお祭り。これからも、みんなの力で大切にしていきたいと思います。



伝統行事に参加した児童の皆さん



門前獅子舞で猿の役を演じた児童



山道を往復 10 km 『がんばり遠足』

みんなで声を掛け合い『全員完歩』

11月6日、みんなが楽しみにしていた「がんばり遠足」が行われました。今回の目的地は、旧野中小学校。山道を往復10km・・・縦割り班ごとに並び、上級生が下級生に声を掛けながら班長を中心に出発。道中それぞれのチェックポイントで問題を班ごとに解いたり、ゲームをしたりしながら、一步一步進んでいきました。

そして、旧野中小学校に到着した時は、自然と歓声と達成感があふれていました。



旧野中小を目指して元気に歩く児童



環境ボランティアの皆さんが事前に草刈りを行いました